

第3章 教育ビジョンの実現に向けて

1 教育ビジョンの進行管理

- 本ビジョンの進行管理にあたっては、毎年度、KPI（重要業績評価指標）の達成状況と評価を、県議会をはじめ三重県教育改革推進会議等の関係会議に報告するとともに、県のWebサイトで公表します。また、会議等での意見をふまえて取組の改善を行い、次年度以降の施策展開に生かすなど、PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルに基づく進行管理を行います。

2 多様な担い手との連携・協働

- 子どもたちにこれからの時代に求められる力を育てていくとともに、ますます複雑化・多様化する教育を取り巻く課題を乗り越えていくためには、学校や行政のみならず、全ての県民が教育の当事者としての自覚を持ち、社会総がかりで本県の教育の推進に取り組んでいくことが大切です。
- 保護者、地域の方々、市町等に対しては、「三重県教育ビジョン」の共有と教育活動への積極的な参画・連携を期待しています。学校や行政の役割、家庭や地域・企業等に期待される役割は次のとおりです。

「学校」の役割

学校は、教職員が高い志と使命感を持って子どもたちと向き合うことや家庭・地域と連携することを通じ、一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、「自立する力」、「共生する力」、「創造する力」を育みます。また、学校は、学習機会と学力の保障や全人的な発達・成長の保障、身体的・精神的な健康を保障する役割を担っていくとともに、教育活動に関する情報を積極的に公開したり、教職員の資質向上を図ったりすることで、地域に開かれ、信頼される学校づくりを進めます。

「家庭」の役割

家庭は、子どもの健やかな育ちの基盤として、安心して生活できる環境を整え、深い愛情を持って子どもを温かく育みます。また、家庭は、教育の第一義的責任者として、生活のために必要な習慣を身につけさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図ります。あわせて、学校との連携を深め、家庭での教育を通じて、学力・体力の向上、道徳教育等の教育効果を相乗的に高め合います。

「地域・企業」の役割

地域・企業は、インターンシップや職場体験活動、社会貢献活動、文化芸術・スポーツ活動などのリアルな体験・交流活動や、子どもたち一人ひとりのさまざまな教育的ニーズをふまえた取組等を通じて、多様な学びの機会の提供や支援を行います。また、地域の学校運営への参画や、企業の障がい者雇用による能力発揮の場の提供、地域・企業による子育てや家庭教育への応援・支援など、さまざまな視点から教育施策に協力・貢献します。

「行政」の役割

県教育委員会および県は、時代の変化等に伴い新たに生じる課題や状況に的確に対応するとともに、よりよい教育施策の実施に向けて取り組みます。また、子どもたち一人ひとりの状況に応じたよりよい教育環境を整備・実現するとともに、ニーズや課題を把握・分析した上で、計画やシステムを整備し、必要な助言等を行います。あわせて、社会総がかりで教育を進めるために必要な働きかけや支援等を行います。

県と市町の役割分担

市町等教育委員会および市町は、義務教育、幼児教育を担う自治体として、自らの判断において教育行政を展開するとともに、その成果について住民への説明責任を確実に果たします。

県教育委員会および県は、全県的な教育水準の維持向上に主体的役割を果たします。また、教育施策を進めるにあたり、市町等教育委員会、市町との意見や情報の交換を密にし、その主体性を尊重しながら一層の支援を図ります。